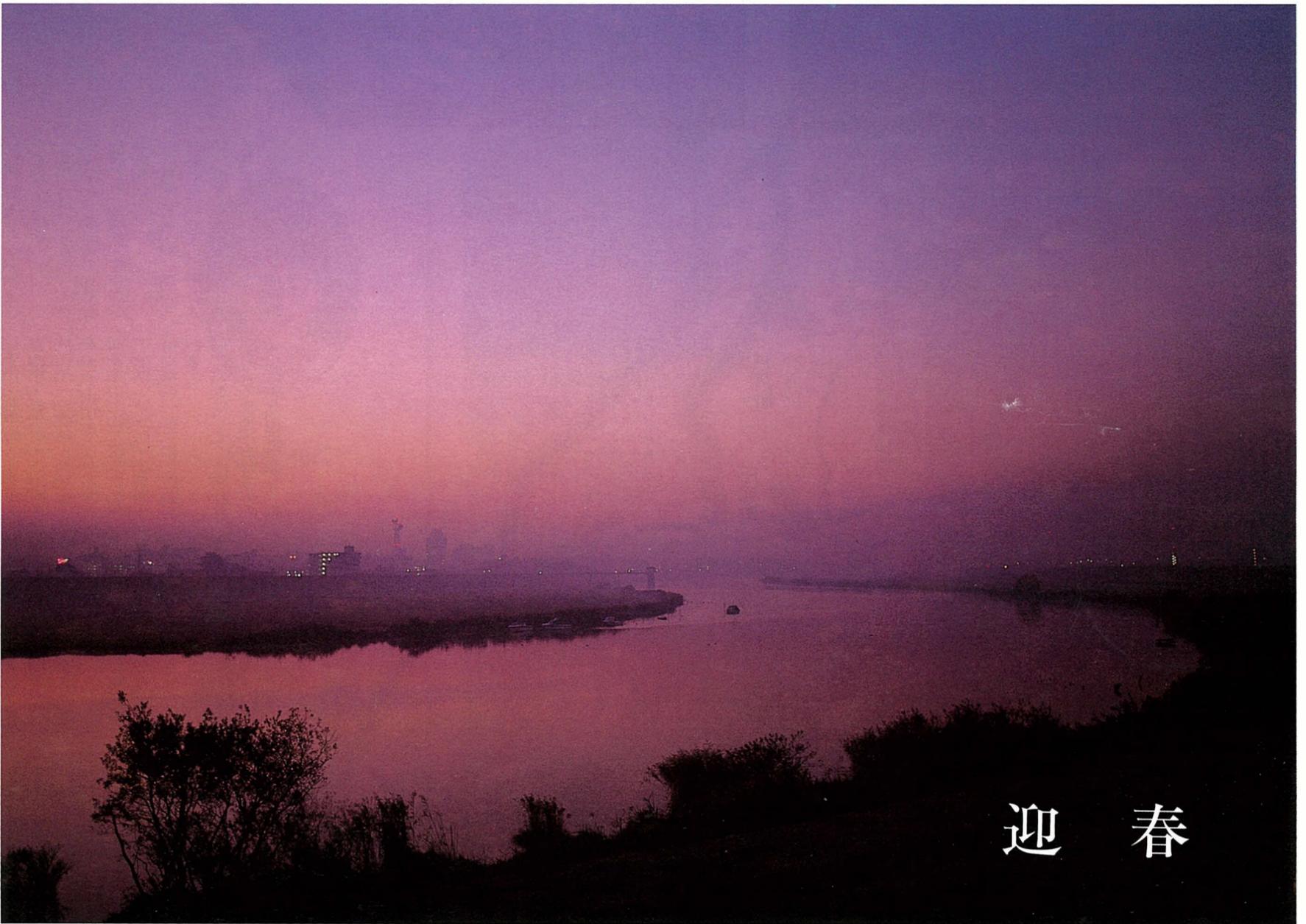


# 広報 まつど

市役所は3日(木)まで休みます  
緊急のご用は☎66-1111番へ

編集・発行=松戸市役所広聴部広報課  
〒271 松戸市根本387番地の5 ☎(66)1111番



## 迎春

### 江戸川の夜明け

皆さんは、市外の人から「松戸ってどんな所」と尋ねられたら、どうお答えになりますか。「江戸川が流れている所」と言う人も多いのでは…。昭和62年に行った市民意識調査でも「わが街らしさをもっとも感じさせるものは」の問いに33.2%の人が江戸川をあげ、第1位となっています。

さあ、一緒にその魅力を探ってみましょう。

市議会議長

石井 和 雄



この新春を迎え、今更ながら使命の重大さを痛感いたしますとともに、心魂を傾け、市民福祉の向上と市議会の発展に努力いたしてまいりたい所存であります。今、松戸市は人口四十五万人を擁する全国有数の都市として発展を続けておりますが、複雑多様化する行政需要の中にあつて、解決しなければならぬ問題等もあります。中でも、市民生活において、皆様に直接関係する常磐線の混雑緩和やごみ処理問題、治水対策などにつきましても、私も市議会議員が一人となって取り組んでまいりたい所存であります。そして、松戸市を皆様とともに魅力あふれるすばらしい都市に築き上げ、二十一世紀に向かって邁進したいと願っております。何とぞ、相変わらぬご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。皆様のご健康とご多幸を祈念し、年頭のご挨拶いたします。

明けましておめでとうございます。輝かしい新春を迎え、市議会を代表いたしまして、市民の皆様のご繁栄を心からお喜び申し上げます。日ごろ皆様には、私も市議会議員の議会活動に対し、温かいご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。私は昨年の十二月市議会において、議長に就任いたしました。

市 長

宮 間 満 寿 雄



### 年頭のごあいさつ

明けましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのこと心からお喜び申し上げます。私は市長に就任以来、二十一世紀を展望した理想の都市を実現するため、年次計画の積み重ねにより、計画的な街づくりを推進してまいりました。おかげさまで過去三次にわたる五か年計画は、ほぼ予定どおりの成果をあげ、本市は一步一歩着実に発展を続け、現在では首都圏でも有数の都市に成長いたしました。本年は、第四次総合五か年計画「松戸わがまちプラン」の三年次目にあたりますが、この計画には、二十一世紀の森と広場をはじめ、各種文化施設の建設事業やきめ細かな福祉施策など、より豊かな市民生活を実現するための施策が、数多く盛り込まれています。

私は、この松戸を水と緑に満ちた文化の香り高い都市、誰もが健康で明るい生活を送れる高福祉都市とするため、今後とも渾身の努力を続けようとの決意を新たにしておりますので、どうか本年も相変わらぬご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。皆様のご健康とご多幸を心から祈念申し上げます。年頭のご挨拶いたします。





松戸市漁業協同組合  
中臺 弘志さん  
(小山)

昭和の初めごろは、舟で生活する人も結構  
いたんですよ。水もお茶に使うほどおいしく

てね。

そのころは、銚子や野田のしょう油などを  
東京へ運ぶ高瀬船(帆掛け船)が、一日に十  
回ほど往復していたのを覚えています。

水質も十年ほど前に比べてだいぶ良くな  
ってきています。

これは意外かもしれませんが、江戸川には  
アユの稚魚がたくさんいて、養老川などに分  
けてあげているんです。

昨年は五百五十匹も捕れたんです。子孫  
に、いつまでも魚のすむ江戸川を残してあげ  
なければと思います。

# 悠久のときを 超えて 江戸川の 歴史

## 古代の大河 「古東京川」

約十万年前の地球では気  
温が上がり、水河が溶け、関  
東地方全域も海になってい  
ました。

その後、八万年から二万  
年前に最後の氷河期がおと  
ずれ海が後退し、今の東京  
湾の浦賀水道あたりまで、  
陸地が変わったと推定され  
ています。

### そして太日川に

今から、一万年から五千  
年前(縄文前期)に再び急  
激な温暖化が始まり、海面

そのころ、やがて今の利  
根川や荒川になる大小の川  
は、東京湾内の中央で合流  
し、一本の大河となって東  
京湾に注いでいました。

### つづられた江戸川

この大河は「古東京川」と  
学界では名付けられており、  
江戸川の遠い祖先です。

この渡良瀬川の下流であ  
る太日川(太井川とも書く)  
が後に江戸川となります。  
太日川という名が出てく  
る最も古い文献は、承和二  
年(八三五年)の太政官符の  
渡し舟についての記載で、  
「下総国太日河」とありま  
す。

### 栄えた船運

また、「更級日記」にも太  
日川と松里(松戸の地名の  
起りともいわれている)  
という記述があります。



金町方面から見た松戸渡舟場(明治41年)

中世の利根川は関東南部  
をいくつにも分かれて乱流  
し、その主流は行田・岩槻・越  
谷・草加などを経て東京  
湾へ流入していました。

江戸時代にも洪水の度に  
流れを変え、江戸の町にも  
大きな被害をもたらしてい  
ました。

天正十八年(一五九〇年)  
に関東に入国した徳川家康  
は、新田の開発と治水のため、  
利根川の流れを東に向  
ける計画をたてました。

江戸時代、戦格的な面と  
治安上の理由で、隅田川  
を除き、河川には橋を架け  
ないのが幕府の政策でした。  
それにより、「渡し」は住  
民の道として増え続け、江  
戸時代末期の江戸川には三  
十七カ所も公の渡しがあり

ました。  
市内に残っている「矢切  
の渡し」は、その中の一つ  
です。江戸時代は住民専用で、  
旅人が乗ることは禁じられ  
ていました。



明治末期の海岸線(現在の常磐線)の江戸川鉄橋。下には物資を運ぶ船が見えます



葛飾橋の開通式の様子(昭和2年)



江戸川上空の航空写真(昭和9年)。三郷方面から下流を見たもので、上の街並みが松戸の市街地です



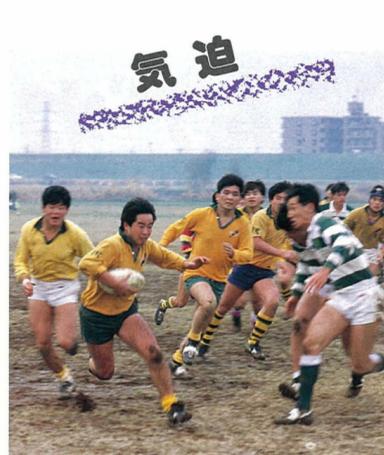
昭和26年当時の槿野口の渡し。もちろん今はありません



江戸川沿いの伝兵衛新田(今の栄町)の水田風景(昭和36年)



江戸川での稚アユの漁業風景(昭和初期)



散歩に来ていた  
田辺 泰子さん  
尚子ちゃん(4歳)

家が近いので、河原には  
子ども遊びによく来ます。  
子どもたちも、のびのびと  
気持ちの良い声で、  
朝の景色を眺めながら  
しゃべっています。



6月3日(日)に江戸川沿岸の住民約10万人が参加して、江戸川クリーン作戦が行われました。同時に河川敷で、若者に人気の上々颱風(シャランシャラン)と東京スカパラダイスオーケストラのコンサート(ごみ減らしライブ)を開催し、ごみ減量を呼び掛けました



江戸川沿いの野草を観察し、自然と親しもうという江戸川ハイキングが4月15日(日)に行われました(主催:江戸川を守る会松戸支部)。途中、自分たちでつんだタンポポなどの天ぷらに舌鼓をうちました



中洲にタヌキガ

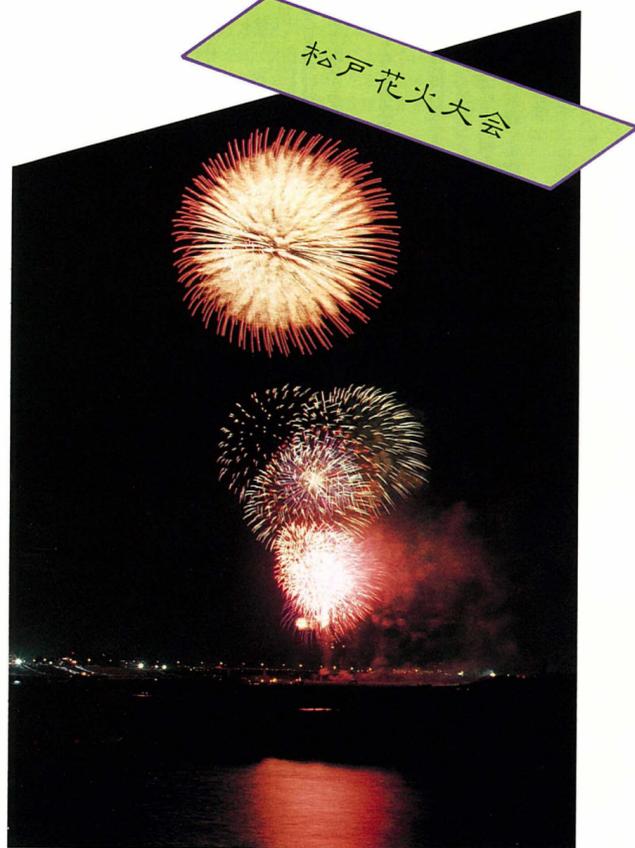


ウナギの稚魚放流



読書中にと  
北島 恵子さん

天気が良く、暖かかった  
ので手で本を読もうと思  
つて...。広くて静かなのが  
気に入っています。  
それに緑も、息を  
かいて深呼吸したい気分です。



毎年恒例の松戸花火大会。昨年も8月18日(土)に、1万発の花火が松戸の夜空と江戸川を彩りました。会場周辺は過去最高の42万人の人流でにぎわいました



水と緑の祭典  
フェスタ江戸川・夏色のハーモニー

江戸川の魅力とふれあい、川との生活を考えようと8月5日(日)に「水と緑の祭典・フェスタ江戸川・夏色のハーモニー」が開催されました。手作りのいかだ下りやジェットスキー、カヌー教室など、盛りだくさんの催し物を大勢の人が楽しみました



# 江戸川の水で



浅井 品子さん

今まで、水には別に興味がありませんでした。それは、蛇口をひねれば水が出てくるのは当たり前だと思っていたから...。油が流れたときどきの片割に、必要に応じて「三三」ある取水口を開けると、勉強になりました。



島根 拓郎くん

ふだん僕たちが飲んでいる水が、江戸川の水だということがよく分かる、とても有意義でした。いつも見ている塔、配水塔に昇れることができ楽しかったです。



横内佐代子さん

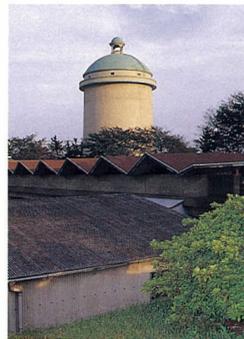
四人家族で「日約」の水を使っている。ひびきました。川の水を取ってきれいにするまでの時間を質問しましたが、四、五時間もかかるので、たいへんだなあと思いました。



木村 一くん

今まで何気なく飲んでいた水をきれいにするために、たくさんの方が一生懸命に働いているんですね。今日は水道局の人に感謝するところ、自分たちが川をきれいにしたいと思っています。

写真提供：熊谷 章さん(金ケ作)



(配水塔)ろ過池と配水池を通って大部分の水は、この配水塔から給水場へ行きますが、一部は、直接家庭などへ給水しています。江戸川の水を取ってから給水場へ送るまで約5時間かかります



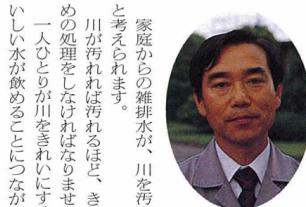
(沈でん池)にごりを薬品で固めて取り除きます



(集水井)きれいな水を見てみんな「びっくり」。さらにきれいにするため、ここからろ過池へ送ります



見学の後、学校に戻りみんなで水を飲みました。江戸川の水で生きていることを実感



案内してくれた浄水第2課長 園田 勉さん

家庭からの雑排水が、川を汚す一番の原因と考えられます。川が汚れるほど、きれいにするための処理をしなければなりません。一人ひとりが川をきれいにすることが、おいしい水が飲めることにつながると思っています。

# オアシスを求めて 江戸川にやってくる鳥たち



ハシビロガモ



オオヨシキリ



ハクセキレイ



コサギ



カルガモ

江戸川は四季を通して、たくさんの種類の鳥がやってくる。冬には北からカモの群れが、夏にはオオヨシキリやコサギの群れ、コサギやヒヨドリは一年中見ることが出来ます。ちよつと注意して見れば、珍しい鳥を見ることが出来るかもしれません。このコーナーでは、江戸川周辺で身近に見られる鳥たちを紹介いたします。

ヒドリガモ



ユリカモメ

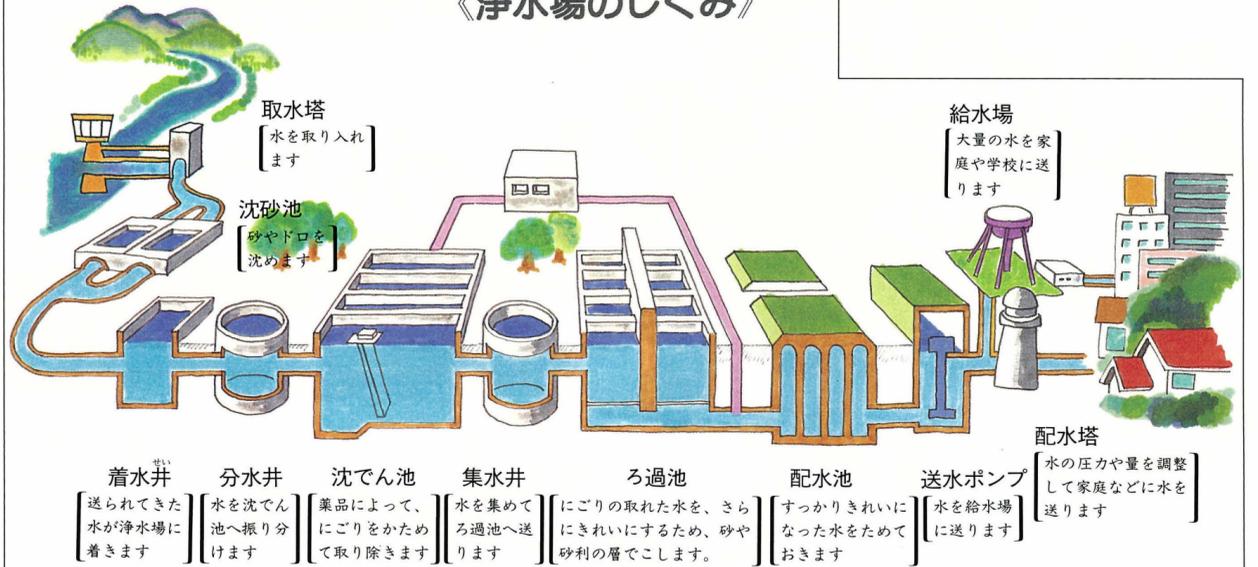
# 生きているんだね 矢切小の子どもたちが 栗山浄水場を見学



現在市内の水道は、江戸川を水源とする県営水道と、一部江戸川の水と地下水を水源とする市営水道で賄われています。平成元年度の県営水道の市内の給水人口は三十二万四千八百五十五人と、市民の七割以上は、江戸川の水を飲んでいることになりました。市内には江戸川の浄水施設として古ヶ崎浄水場と栗山浄水場の二つがあります。矢切小学校の六年生四人が、栗山浄水場を訪れ、川の水が飲めるまでを見学しました。

## 水道の水ができるまで

### 《浄水場のしくみ》



<b>取水塔</b> 水を取り入れます	<b>沈砂池</b> 砂やドロを沈めます	<b>沈でん池</b> 薬品によって、にごりをかためて取り除きます	<b>集水井</b> 水を集めてろ過池へ送ります	<b>ろ過池</b> にごりの取れた水を、さらにきれいにするために、砂や砂利の層でこします。	<b>配水池</b> すっかりきれいになった水をためておきます	<b>送水ポンプ</b> 水を給水場に送ります	<b>配水塔</b> 水の圧力や量を調整して家庭などに水を送ります
------------------------	-------------------------	--------------------------------------	-----------------------------	---	------------------------------------	----------------------------	--------------------------------------



(着水井)川の水が最初に浄水場に着く所。消毒をします



(取水塔)江戸川沿いに2基あり、取水口は縦に3カ所ずつあります



(分水井)水質の調整をし、四つある沈でん池へバランスよく水を配分します。

昭和の初めは、この辺りは伝兵衛新田という地名で、農家しかいなかったんですが、その家も持っていきました。私の家も「田舎」であって、よく父と農閑期に「田舎」で釣りに行って、「コサギ」や「ヒヨドリ」の魚を釣りました。そのころの江戸川の水は、井戸水よりおいしく、直接飲んだりごはんを炊くのに使ったりしていました。今と違って川底が浅く、難所も多かったんですが、川の流が早い分、水がきれいだったんだと思います。今の川は、都心の建築ブームで、十年くらい前から川砂が少なくなりました。川の水がよくなりましたが、人口が増えたため、家庭からの雑排水も大きな原因です。松戸市民だけでなく、江戸川沿いに生きているすべての人が自覚をもって、川をきれいにしたいですね。



江戸川を守る会 戸張 泰一さん (柴町西)

